

住宅政策の基本目標、方向性について（案）

令和7年6月6日

- ・ 四半世紀先の2050年を見据えて、長期的な展望に立った住宅政策の方向性と今後10年間を目途に取り組むべき住宅施策をとりまとめる。

(2) 大阪市全体のめざす方向性

「大阪市未来都市創生総合戦略」における大阪市全体のめざす方向性として、

『一人ひとりが多様な幸せ(Well-being)を実感でき、

誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う

「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざす』

ことが示されている。

(3) 住宅政策の基本認識

- ・住まいは、市民生活を支える基盤であるとともに、都市を構成する重要な要素である。住まいのあり方は、市民生活の質の向上はもとより、都市の活力、防災、環境、地域コミュニティなどと密接な関係にある。
- ・住まい・まちづくりを通じて、一人ひとりが多様な幸せ(Well-being)を実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思うまちの実現に貢献することが、住宅政策の使命である。

(4) 住宅政策の基本目標

検討案

一人ひとりが幸せを実感できる住まい・まち大阪の実現
～安心と安全、あふれる魅力を未来へ～

魅力あふれる住まい・まち大阪の実現と未来への継承
～一人ひとりが多様な幸せを実感できるまちをめざして～

(資料4 答申体系フレーム案に掲載)

選ばれるまち、大阪。次代につなぐ、人と住まい。
～一人ひとりが多様な幸せを実感できるまちをめざして～

いまでも、これからも。ずっと住みたいまち大阪
～一人ひとりが多様な幸せを実感できるまちをめざして～

(5) 住宅政策の基本的な方向性

住宅政策の基本目標を実現するためには、次の4つの要素が必要と考えられる。

【めざす住まい・まちの姿】

- ・ 安 心

多様な世帯が安心して暮らせる住まい・まち

- ・ 安 全

災害に強い安全な住まい・まち

- ・ 継 承

次世代へつなぐ持続可能な住まい・まち

- ・ 魅 力

大阪らしい魅力を感じる住まい・まち

(6) 今後取り組むべき主要な施策（主に次回審議会で議論）

安 心

多様な世帯が安心して暮らせる住まい・まち

- 子育て世帯等の活力ある世代の市内定住の促進
- ・
- ・
- 住宅セーフティネット機能の強化
- ・
- ・

安 全

災害に強い安全な住まい・まち

- 安全に住み続けられる住まい・まちづくりの推進
- ・
- ・
- 大規模災害への備え
- ・
- ・

継 承

持続可能な住まい・まち

- 民間住宅ストックの再生・有効活用
- ・
- ・
- 脱炭素社会に向けた良質な住宅ストックの形成
- ・
- ・

魅 力

大阪らしい魅力を感じる住まい・まち

- 地域との連携による魅力あるまちづくりの推進
- ・
- ・
- 住まい・まちづくりに関する総合的な相談・
情報発信等の充実
- ・
- ・